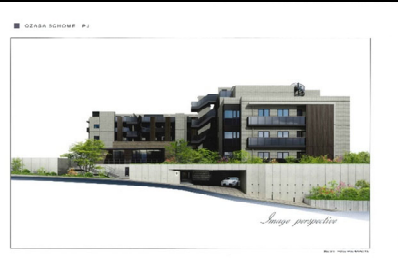


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小笹5丁目計画 A	階数	地上5F 地下1階
建設地	福岡県福岡市中央区小笹5丁目240番1外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用・第二種住居	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年9月28日
敷地面積	4,135 m ²	作成者	宗信 宏隆
建築面積	1,322 m ²	確認日	
延床面積	5,009 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行う事で、地球環境保全に貢献しています。 道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。 既存緑地の1/3を保存緑地として残し、維持管理して行きます。 	0
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> 階床遮音性能に配慮しました。また、ホルムアルデヒドの発散を抑えた建材を使用し、安全で快適な居室空間に努めました。 内装材等にはF☆☆☆☆を採用しました。 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 段差や廊下幅などバリアフリーに配慮し、高齢者や障がい者の方にも安心で安全な建物を目指しました。 福岡市福祉のまちづくり条例の整備基準をクリアしました。
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> LED照明などの高効率設備機器を採用しました。 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 屋外駐車場の一部を地下1階に取込み、屋外アスファルト面を縮小する など、ヒートアイランド現象の緩和を図りました。 地下1階を駐車場として計画しました。
	Q3 室外環境 (敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 敷地は大通りからも見えるため、周囲の街並みに配慮した景観計画としました。 道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。
	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 光害(漏れ光など)によって周囲に悪影響を与えないよう、外灯などの照明器具は 設置位置や高さに配慮しました。 外灯の点灯・消灯はタイムスケジュール制御としています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される